

【目次】

- 1 令和5年度 デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」受講生の募集について（北海道経済産業局）
- 2 令和4年度北海道開発計画調査の報告書のHP掲載について（北海道開発局）

- 1 ●令和5年度 デジタル推進人材育成プログラム「マナビDX Quest」受講生の募集について●（北海道経済産業局）

経済産業省は、デジタル人材の育成を推進するため、デジタル知識・能力を身につけるための実践的な学びの場として、課題解決型現場研修プログラム「マナビDX（デラックス）Quest」を提供しています。

この研修プログラムは、オンラインでの実践的研修プログラムで、地域企業・産業のDXの実現に向け、ビジネスの現場における課題解決のための能力を磨くことができます。今般、本プログラムの受講生募集を開始しました。

■プログラム

- ① ケーススタディ教育プログラム
教材を用い、受講生同士の学び合いを通じて、課題解決のプロセスを疑似体験する教育プログラム
- ② 地域企業協働プログラム
地域企業と協働し、実際の企業の課題解決にチームで取り組むプログラム
※前年度の受講者満足度は96%と高評価
※上記②のみの受講は不可。受講には①の修了（昨年度修了者も可）が必須条件。

■定員

1,800名程度（受講料無料）

■対象

学生・社会人

■募集締切

2023年7月25日（火）午前8時59分まで

▼事業詳細・申請はこちら▼

<https://dxq.manabi-dx.ipa.go.jp/>

- 2 ●令和4年度北海道開発計画調査の報告書を北海道開発局HPに掲載しました●（北海道開発局）

北海道開発局では、令和4年度の北海道開発計画調査*の報告書（3件）をHPに掲載しました。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/u23dsn0000001rud.html>

1. 「苫小牧東部地域におけるカーボンニュートラルの推進等に関する調査業務」

苫東地域は日本有数の敷地面積を誇る産業地域であり、再生エネルギーの導入ポテンシャルの高い地域です。本調査によって、苫東地域の再エネ導入候補地域の絞り込みを行い、太陽光発電の導入、近隣で計画される風力発電や地域内のゼロエミッション火力等を考慮すると苫東地域は1,000MW 超の再エネポテンシャルが見込まれる試算結果が得られました。

今後に向け、苫東地域において土地代が安価である北海道の利点も活かした再生可能エネルギーの利用環境を整備し、使用電力量が増加傾向にある通信業を筆頭に産業誘致を促進する「苫東GX HUB構想」を提言しました。

調査結果については、苫東地域のみならず、産業促進を図る他地域にも有益なものとなっています。報告書をご一読いただき、地域における産業誘致戦略の企画・立案等にお役立てください。

2. 「根室地域への旅行者誘客調査業務」

根室地域（北方領土隣接地域）の周遊観光を促進するため、当該地域の魅力的な観光コンテンツや、観光に利用できる二次交通情報をWEBサイトにて発信し、WEBサイトへのアクセスやSNS等による閲覧促進の効果等を調査・分析した結果、

- ①民間予約サイトにおけるクルーズ（夏・冬）やエコツアー・自然体験等の商品の販売件数が、観光船事故の影響のあったクルーズ（夏のネイチャークルーズ）を除き前年同時期比で約3.1倍に増えた
- ②根室地域の特色を活かした観光コンテンツ（野生動物・アクティビティ）が閲覧者からの関心を集めている
- ③観光と二次交通の情報を一元的に発信することで一定の交通需要が生まれる
- ④公共交通利用増加への課題として「便数や路線の増加」や「移動時間の短縮」を観光資源と結びつけることが重要であることなどがわかりました。

調査結果については、根室地域のみならず、誘客促進を図る他の観光地にも有益なものとなっています。報告書をご一読いただき、地域における観光戦略の企画・立案等にお役立てください。

3. 「生産空間における地域産業の活性化に向けた物流システムの実装に関する調査業務」

北海道の価値を生み出す「生産空間」として我が国に貢献している北海道の地方部における定住環境を確保していくため、物流事業者の減少が著しい道北地域において、物流等の実態把握に関する調査や生産空間を維持・発展させていくうえで必要となる持続可能な物流システムに関する調査分析を行いました。その結果、道北地域の物流の実態として、

- ①輸送力の低下、保管施設の不足、労働力不足といった課題
- ②道北地域に関係する荷主事業者においては、石狩管内を発着地とした宗谷・オホーツク・上川等との輸送が多い傾向にあること
- ③道北地域に関係する貨物運送事業者における中継輸送ニーズなどがわかりました。

これを受けて、「共同輸送・中継輸送実装研究会」を設立し、今後、実証実験を実施の上で、生産空間における持続可能な物流システムの構築を目指すこととしています。

調査結果については、道北地域のみならず、物流課題を抱える他の地域にとっても有益なものとなっています。報告書をご一読いただき、地域における物流戦略の企画・立案等にお役立てください。また、今後の研究会への参画に向けたお問合せもお待ちしております。

* 北海道総合開発計画の企画、立案及び推進のため毎年度実施している調査
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/u23dsn0000000fqs.html>

（配信元／問い合わせ先）

=====
北海道価値創造パートナーシッププラットフォーム幹事会事務局
／国土交通省 北海道開発局 開発計画課
hkd-ky-kachi@ki.mlit.go.jp
=====